

長尾和宏様

こんにちは。お久しぶりです。「平穏死」10の条件、「胃ろうという選択、しない選択」の長尾先生の書かれた本を買って読んで、私の母と父の事を手紙に書いて長尾先生に出したところ、お電話を頂いた、 市に住んでいる といいます。私の母が今年2月 日に肺炎、呼吸不全で亡くなりました。午前4時25分という時間帯に私の家に電話がかかってきました。呼吸が止まったという知らせでした。すぐにタクシーに乗って、病院に行きました。母の死に目には会えませんでした。亡くなった母の姿を見て、心に穴が開いたような感じていた。すぐに、妹に電話をして、「仕事を休んで来る」ということでした。妹が来るまで、母と二人きりでいろいろな事を考えてました。「これで、よかったんだろうか」「なんとか、なかなかなかったんだろうか」「最後まで、親孝行できなかった」……。『胃ろう』、この言葉を何度も……。十二月末に、担当の医師から、「危篤です」という言葉を聞いた時は、どうしようかと思いました。酸素マスクを付けて、10Lの最大値まで上がって、苦しんでいる母を、どうにかしろなかと長尾先生のところの手紙を書きました。長尾先生から、お電話を頂いた時は電話に出られませんでしたか？、折り返し電話をしたところ電話に出てくださいって、ありがとうございました。長尾先生は専門家の医者ですから、分かると思いますが、呼吸不全の原因は「出血傾向、低アルブミン血症」だそうです。あと、C型肝炎、パネッソ病、胃ろう造設、くも膜下出血後遺症です。

十二月末に危篤ですと告げられた時から二月十三日までの約2か月間、母は時折、涙を流しながら、「出来の悪い息子を用意して、あの世にいけな」と思ったんだと頑張りました。妹も、そう言っていました。77歳、まだ若いと思ひながら、今だに元気がありません。父が先に亡くなって、母がその後を…。私の責任が大きいです。■■■■病院、■■■■病院、■■■■内科、■■■■病院約3年、病院に入院していました。もともと、なぜ、入院したかというパーキンソン病であった母に、「お母ちゃん、外に行こう」と言って、母と一緒に近くの駐車場の椅子の所まで行った後、その椅子に座って、ジュースを飲んで、ちょっと休んで家に帰りました。夏でした。帰った後、母は、しばらく寝てましたが、急変して、具合が悪くなりました。これは、危ないと思って、3つの内科の病院に電話をかけて、3つ目の病院がつかないため、「できるだけ早く来て下さい」と言ってその病院の先生がすぐ来てくださいました。先生から、「危ない、肺炎をおこしている」と言われて、「■■■■病院、■■■■病院、■■■■病院の3つの中から、選んで下さい」。父が■■■■病院にしなさいと言いました。それから、いろいろな事がありました。初めは、病院費がまずいと言って全然、言いませんでした。これでは、いけないという事で、鼻からのチューブに変わりました。この鼻からのチューブは違和感があるのか、何度もチューブを換えました。主治医がこのままでは危ないと言われ、胃ろうの話が出ました。

私はよく考えました。父と妹にも相談したのでしょうか、近所のおはさん(看護士の資格を持っている方)にも、「■ちゃん、胃ろうは考えた方がいいよ」と言われ、悩みました。母は嚥下障害があるため、ある二人の先生の話をもしました。

■歯科の■先生と■クリニックの■先生です。

お二人に手紙を出したところ、■先生からは手紙が届きました、間違えました、入院する前に手紙を出しました(胃ろうを造設した後も手紙を出しました)が、パーキンソン病は難しいと言われました。■クリニックからは、お電話を頂きましたが、■は遠くて行けないうと(■クリニックは■県に■にあります)言われましたが、その代わり、■県で■治療院という■の鍼灸院があるから、そこに行ってみてはどうですかと言われました。結果は同じだったかもしれませんが、行けばよかったかもしれません。

■先生にも手紙を出したか、■方面で私が知っている治療者は残念なからいせん、出来れば119番で“頭針”をやってくれる所があればいいかと思います、免疫療法を色々工夫しながらやっているのて工夫をやってくれる119番に聞いてみて下さいというお返事を頂きました。これも入院する前です。この他にも、パーキンソン病で有名な■病院の■先生の所に母を連れていこうかと思いました。ただ、■病院の主治医に

「また元に戻るから」と言われた様な気がします... 3年前の事なので覚えてませんが、
胃ろうにしました。胃ろうにした事を後悔しています。 病院までは、普通に
意志疎通が出来ていたが、内科に入院して、母が「この病院は嫌だ、家に
帰りたい」と何度も言うので、主治医と妹に病院を代わろうと言いました。
なぜか、ダメですと言われました。内科に1年ぐらゐ入院してましたが、私が病院と
ちよっともめ事をしたため、病院に物子でこにしました。その病院は妹が
紹介してくれました。できれば、お風呂のある所がいいので、その病院にしました。
私は本当に親不孝な息子です。45年間、就職もせずに引きこもって親に迷惑
ばかりかけてました。父と母は、私に期待してくれていたと思います。実は、私は精神
障害者です。だからといって、許される訳ではありません。長尾先生から、お電話を頂いた
時は、「どうして働かないの?」と聞かれたので、とまいました。妹は、「お母ちゃん、よく、ちゃん
やったよ、前を向いて生きなさい」と言ってくれたが、気持ちの整理が落ち替わってません。
いロークワークにも行ってますが、なかなか、難しいです。話を元に戻しますか、
現在は、口陰ケアに力を入れて、できるだけ胃ろうにしない様になっているみたいです。
この3年間、どうだったんだろうかと思い、悩んでいます。病院の時から、ほぼ毎日、

多い時は、1日に3回も母のところにへ行きました。私は、インターネットもあり世間し、事も持て世間。父も女人間です。母が涙を流しながら、頑張っているのを見て、かわいそうで、仕方がありませんでした。父方は、「お母ちゃんが産んだ子だから仕方がない」と、父が生きている間、言わねました。父も、心臓が悪いのに、「お母ちゃんのところにいこうか」と言って病院までへ行きました。77歳で行けば良かった、いや、行かなかったほうが良かったです。父の時も大変でした。普通に歩けなくなって、病院に救急車で行きましたか、レントゲンも撮って何もなくてすよと言われ、家に帰されました。家の中で、転倒、頭を打ってしまい、また、救急車を呼んで、今度は、首のMRIを撮ったら、頸椎損傷という事で、すぐ入院しました。113113ありがとうございました。転倒、動脈硬化になってしまい、セキがりました。父も母も優しい人です。3人で生活している時は、113113ありがとうございました。幸せとてはいきません、良かったです。私が、普通に勉強をして大学を卒業して、就職してからは、こんな事にはなりました。これから、どうしていいか悩んでいます。長尾先生にもお電話を頂戴、アドバイスをもらって、ありがとうございます。維持的な文章で申し訳ありません。それでは、失礼致します。